





県道 340 号線から眺めた川登大橋。



県道 50 号線の川登大橋を渡ると。上流には先ほど渡った高瀬沈下橋が見える。



過去に私が設計した落石防護柵基礎。ケーソンのように根入れ地盤の横抵抗を考慮して設計してある。



県道 340 号線のガードレール基礎として、私が考案し開発した「プレガード」が設置されていた。プレガードは清流四万十川の風景によくマッチする。



三里沈下橋。右岸側には三里観光船乗り場がある。



佐田沈下橋。右側の女性は大阪から来られた酒徳溢子さん。大阪生まれの大阪育ち。四万十川が大好きで、10年前から毎年参加している。東日本大震災があった平成23年は中止になったので、今年で9回目の参加。昨日は、「くじらコース 29km」を完歩したとのこと。健脚振りに驚かされた。



たくさんの桜が植えられた「桜つつみ公園」。11時と少し早かったが、弁当をもらったのでここで昼食とる。



四万十川流域は、自然が一杯。「ホーホケキョ」とウグイスの鳴き声が聞こえてきた。木を見上げると鳥の巣箱があった。



四万十川リバーサイドフルウォークに参加して、四万十川がこんなにも美しかったのかと思い知らされた。

四万十川沿いに1,000万本の菜の花が一面に広がっている入田ヤナギ林。

菜の花は、満開の時期を過ぎていたが、この美しさには感動させられた。



中村東下町では、商工会のボランティアの皆さんから味噌汁、竹の子の入った炊き込みご飯、つわぶきの油炒めなどのご馳走のおもてなしを受けた。



天神橋アーケードに入ると、アーケード内に果物や野菜、絨毯、土佐山田の刃物などを売る市が出されていた。

昨夜食事をした「居酒屋なかひら」も昼間から営業をしていた。



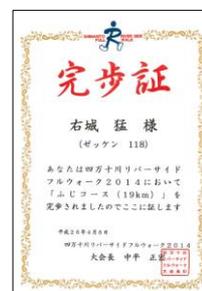
天神橋アーケードを出ると一条神社の鳥居がある。この近くに第4番目のチェックポイントがあった。



やっと、安並公園に帰ってきた。



13時、ゴールのゲートを潜る。4時間30分のタイムで完歩できた。早からず遅からず。



私が胸に付けているゼッケンといただいた完歩証

全てのチェックポイントと昼食場所には、仮設トイレと給水所、キャンデーが用意されていた。休憩所の桜づつみ公園では味噌汁、中村東下町では味噌汁、竹の子の炊き込みご飯、つわぶきの油炒め、ゴールの市民スポーツセンターでも味噌汁を振る舞っていただいた。

大会を運営された関係者、そして心温まるおもてなしをしてくれたスタッフの皆様、心より感謝申し上げます。